SQL チュートリアル - 発展

チュートリアル用のテーブル作成

基礎のチュートリアルで作成した books テーブルはこのチュートリアルでも引き続き使用する。 テーブル結合の説明用にシンプルなテーブルを 2 つ用意する。

■ depts テーブル

dept_id にプライマリーキーとオートインクリメントを設定する。

カラム名	意味	型	NULL	
dept_id	部署 ID	INT	×	
name	部署名	VARCHAR(32)	×	

データ入力

name
営業部
総務部
技術部

■ employees テーブル

id にプライマリキーとオートインクリメントを設定する。

カラム名	意味	型	NULL	
id	社員 ID	INT	×	
name	社員名	VARCHAR(32)	×	
dept_id	部署 ID	INT	0	

データ入力

name	dept_id		
Alpha	1		
Bravo	2		
Charlie	1		
Delta	NULL		

テーブルの結合

複数のテーブルを結合し、結合後のテーブルから SELECT 文でデータを抽出することができる。結合 方法には大きく分けて内部結合と外部結合がある。

この項では作成しておいた deps テーブルと employee テーブルを使って説明する。 これらのテーブルのポイントは以下の 2 点である。

- 技術部 (dept_id=3) 所属は存在しない
- Delta はどの部署にも所属していない

■ 内部結合

INNER JOIN 句を使うと内部結合が行える。

内部結合は複数のテーブルを結合し、指定したカラムの条件が一致したレコードのみ取得する。 なお、INNER を省略して「JOIN」と書くこともできる。

以下に例を示す。

```
SELECT * FROM employees INNER JOIN depts
ON employees.dept_id = depts.dept_id
```

この SQL は、employees テーブルのカラムに対し、「employees テーブルの dept_id と depts テーブルの dept_id が対応している(同じ)カラム」という条件が一致した depts テーブルのレコードを結合する、という意味である。

以下にそれぞれのテーブルと実行結果を示す。

employees depts 実行結果									
id	name	dept_id			id	name	dept_id	dept_id	name
4		1	dept_id	name	1	Alpha	1	1	営業部
1	Alpha	1	1	営業部	2	Bravo	2	2	総務部
2	Bravo	2	2	総務部	3	Charlie	1	1	営業部
3	Charlie	1	2		5	Alpha	1	1	営業部
4	Delta	NULL	3	技術部	6	Bravo	2	2	総務部
					7	Charlie	1	1	営業部

WHERE 句を使う方法

INNER JOIN 句を使わず、WHERE 句を使って内部結合を行うこともできる。

■ 外部結合

サブクエリ

集計関数

GROUP BY

HAVING

insert 文

update 文

delete 文